



地区広報

# おやまだ

第 40 号

令和4年3月20日



## 特集 コロナ禍の小山田 パート2

### 主な内容

- P 表紙・巻頭言
- 1 日本の感染状況グラフ
- 2 コロナ禍の小山田 パート2
- 3 コロナ随想
- 4-5 トピックス
- 6 専門部の活動報告
- 7 活動報告続き 表彰
- 8 ホームページ更新版・解説  
地区の人口、表紙の言葉

**巻頭言**

日頃は小山田地区社会福祉協議会の活動にご理解とご協力を賜り、役員一同心より御礼申し上げます。

今年も昨年からの「コロナ感染」の影響が一段と広がり、三重県にも緊急事態宣言が発令されました。

地区内の活動が制約を受ける中、関係者のご協力により、文化祭に代わる「ふれあい青空市場」を開催することができましたので、これらを中心として、活動報告を致します。

なお、今後の社協の行事については、コロナ感染に対する国の方針に沿って、実施していきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

小山田地区社会福祉協議会  
会長 古市 義勝



# 小山田 パート2

月/日	2021年 感染状況
1月7日	「緊急事態宣言」1都3県 1/8~2/7
1月23日	新型コロナウイルス死亡者 全国で5,000人超
2月11日	WHO 変異ウイルスの感染 世界で拡大
2月14日	米国ファイザー製コロナワクチン 国内正式承認
2月24日	高齢者向けワクチン接種 4/12より開始
3月7日	「緊急事態宣言」1都3県 解除
4月26日	インド「デルタ株」1日35万人感染
4月28日	「デルタ株」急速に拡大、大阪・兵庫・京都8割、東京5割
5月21日	高齢者ワクチン接種 7月末までに 自治体93%に
5月28日	9都道府県「緊急事態宣言」 6月20日まで延長
6月18日	東京五輪 無観客が望ましい 尾身会長
8月2日	「緊急事態宣言」6都府県に拡大
8月9日	ワクチン接種 1億回超え、2回接種開始
8月25日	「緊急事態宣言」8県追加・三重県も適用
9月27日	「緊急宣言」「まん延防止」今月中に全て解除の方針
	ワクチン接種1回目 全人口の70%、2回目 60%
11月27日	新変異ウイルス「オミクロン株」 WHO指定
12月9日	「オミクロン株」症状が軽い可能性も WHO
12月22日	「オミクロン株」急拡大を想定 専門家会合

月/日	2022年 感染状況
1月5日	政府「オミクロン株」急拡大の地域 自宅療養を認める
1月14日	政府 濃厚接触者待機 14日→10日間に短縮 エッセンシャルワーカー 6日目検査・陰性→待機解除
1月19日	「まん延防止措置」13都県に適用(三重県も含む)1/21~2/13
1月23日	オミクロン株 ワクチン接種3回接種で効果90%
2月5日	日本1日過去最多・感染者 100,949人 死者 117人
2月6日	花粉症 オミクロン株の症状共通、早めの受診を
2月10日	「まん延防止措置」34都府県に 1/21~3/6 延長
2月11日	新型コロナ飲み薬 ファイザー・メルク2種目承認
2月14日	新型コロナ自宅療養者 54万人、前週より11万人増加
2月15日	新型コロナ国内感染者 400万人超、12日間で100万人増加

## コロナパート2に寄せて

広報・編集部

今年も昨年以上に、コロナ感染が続いていますので、特集のテーマもパート2としました。

ナ禍の影響は緩やかですが、まだ現役の人々にとつては、大変な時代になったなど同情し・支援いたします。

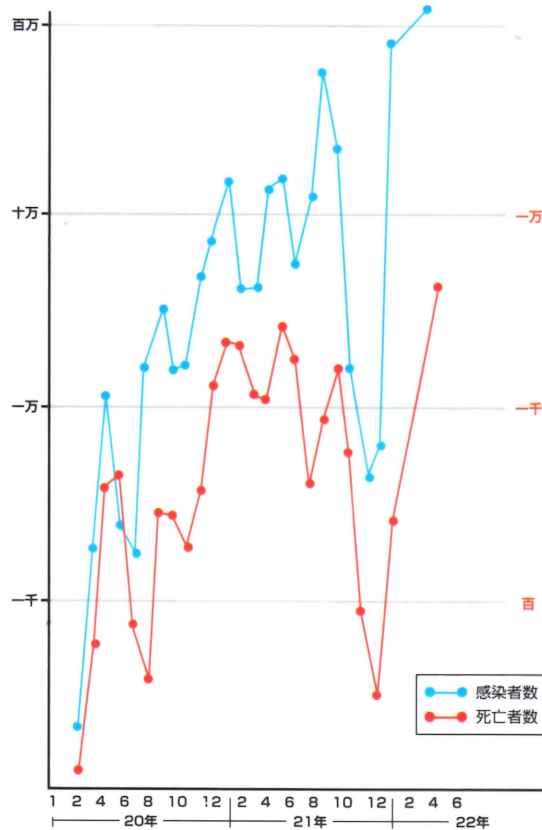
この間コロナ菌は、デルタ株・オミクロン株と姿を変え、世界中を覆い尽くし、単に感染症という医療問題だけでなく、現代社会のシステムを、改めて問い直す現象となりました。

我々地区民は、政府の決めた感染防止策のガイドラインをしっかりと守り、地域の安全安心に努めて行きたいと思っています。

幸い小山田地区は、都会とは少し距離感があつて、コロ



## 日本の感染者数と死者の月別グラフ



2020年1月~2022年2月

片対数グラフ

## コロナ随想（コロナ禍での或る老人の独り言）

地区老人会 会員

私は今年3月で83歳になり、そろそろ終活生活に入る時期にあります。

この数年のコロナ禍の日々は、日常化したボランティア活動もままならず、心身の衰えは、足腰や目・耳に足らず、頭脳

にも及ぶ、今までに経験のないストレスが堪えません。

特に昨年7月に老人健診の血液検査で、血糖値が6.25と異常に高く出

て、糖尿病と診断された時は、すぐに入院を連想したが、コロナの関係で入院治療ができないので、

医師の判断で投薬と食事療法で、今は何とか正常値に戻っています。

私も含め高齢者は、未来を語れるのは、およそ3年〜5年先程度ですが、過去を語るのには、30年〜

50年以上前にもなります。そこでこの機会に、ご縁のある「広報おやまだ」

の中で、80年前からの私の体験談を別表に記述します…。

退職後は、地区老人会会長や、地区社協・文化

ページの運営や広報誌の編集、地区文化祭の開催

などで、地域の皆さんと楽しく、ボランティア活動の日々を送っています。一方趣味の世界では、

年月日	生い立ち・その後の歩み
S.14年3月	大阪・堺で誕生。 父は祖父とトラック数台の運送業を営む
S.15年	戦時体制下で、 中小運送業者は合体させられ、廃業
S.16年初め	家族で満州・旅順の官舎に移住、 父は軍属、兄は満鉄に働く
S.20年8月	敗戦、家族は大連の民家に転居、 兄はシベリア抑留、父は翌年病死
S.22年1月	母・姉・妹と4人で日本に引き揚げ、 堺で祖父母と同居
S.22年4月	母病死、妹は養女、 私は父の生家・善通寺市に一年間転校
S.23年4月～	～S.33年3月の11年間 姉の扶養で、 地元の小・中・高に通学・卒業
S.33年3月4月	大阪府立堺工業高校・工業化学科卒業 協和発酵工業(株) 堺工場に入社
S.38年3月	大協和石油化学(株) (後に新大協和に改名) 四日市工場に転勤 (後に協和発酵に改名)
S.42年10月	結婚 四日市市鹿間町に居住
H.11年3月	協和発酵・定年退職後、 鈴江陸運(株)四日市営業所・所長に就任
H.17年10月	鈴江コーポレーション(株) 中部地区営業顧問に就任
H.21年3月	70歳で依願退職、現在に至る

堺工場で最初の職場に好きの先輩がおられたので、その指導で大峰山や近畿の山々を歩き、夏には北アルプスを巡り、山好きの仲間に入りました。春には、雪の立山にスキーを担いで登り、下手なボーゲンで斜面を滑り下りました。

堺を離れる最後の夏は、立山から槍ヶ岳まで、テント持参で踏破し、北アルプスの自然の雄大さを、身をもって体験しました。

実は、私は四日市市に転勤希望したのは、製造研究で石油化学に関係した事もあります。北アルプスが近くなるのも理由でした。

しかし、四日市に来た頃は、モーターゼーションの始まる時期で、堺では興味もなかった私も、自動車学校で免許を取りました。

独身寮の傍に、名四国道が開通したので、寮の仲間と中古車を購入して、



免許証の来る前から、運転の練習をしていました。その後は、山登りとドライブ旅行がセットとなり、自然の雄大な景色を求めて、信州や東北・北海道などを、車中泊の可能な「エルグランド」等を活用して、家内も同乗して、ドライブ旅行を楽しみました。

最後の旅行は、「カナダ・アラスカのドライブ旅行」で、70才前後の友人4名で、現地でモーターホームを借りて、1ヵ月間、八千キロを、無事走破しました。



# ツクス

写真の焼増しを希望される方は団体事務局まで  
連絡してください。 TEL 059-328-3320



令和3年度  
人権標語優秀作品  
小学1年生  
おもいやり わたしのすきな あいごは  
小学2年生  
あいさつは 心をつなぐ かけこえだ  
小学3年生  
うれしいな みんなのえがお 元気のもと  
小学4年生  
こまったら だれかにいおう いますぐに  
小学5年生  
やめよらね 差別やいじめ なくやめらね



## 女性部・生活福祉部



令和3年12月6日  
女性部 福井県若狭 研修旅行



令和4年2月19日  
生活福祉部 独居高齢者・弁当配布サービス





# おやまだトピ

## ふれあい青空市

**小山田地区**  
 感染予防しながら楽しみましょう  
**ふれあい青空市**  
**1月23日(日)**  
**10時～13時**  
**場所 小山田地区市民センター**  
\*100円玉をご用意ください  
**農産物お値打ち販売 10時～13時**  
農産物を出品いただける方は団体事務所までご連絡下さい (雨天決行)  
**グラントゴルフ大会 9時～12時**  
(雨天時持体育館で競技)  
**たこ作り・たこあげ 10時～13時**  
(100名まで) (雨天決行)  
**食品バザー 10時～13時**  
味ご飯、フランクフルト、ぜんざい (雨天決行) (売り切れ終了)  
駐車場には限りがありますので乗り合わせをお願いいたします  
主催 小山田地区社会福祉協議会  
後援 小山田地区連合自治会  
(団体事務局 TEL.328-3320)



作ろうよ 大切な仲間との 大きな未来  
 ぼくたちは みんなちがって みんないい  
 さしのべよう 勇気・優しさ・思いやり  
 助け愛 心結ぶは 良い仲間  
 読み取って 心の表情 心の声  
 「がんばってね」と、言うより  
 「がんばってるね」と、言う人になりたい。  
 あいさつは 心と心を つなぐもの  
小山田地区人権・国際教育推進委員会



## 老人会伊勢参り 令和4年1月4日





## 各専門部の活動

### 保健体育部活動報告

須藤 成則

保健体育部の主な行事・地区大運動会は、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止になり、今年こそは小山田地区の皆さんに、十分楽しんで頂ける大会にしようと、部員一同思っていたのですが、今年度も残念ながら、新型コロナウイルス感染症防止を優先して、実行を断念しました。

しかし、一月二十三日(日)の、地区社会福祉協議会開催の、「ふれあい青空市場」に協賛し、グラウンドゴルフ大会、和菓子、野菜花等の販売支援で、地区の皆さんに大変喜んで頂けることが出来ました。

グラウンドゴルフでは、二十八名参加者予定の内、当日は一名の欠席も無く、更に一名増えて二十九名で楽しんで頂きました。

主催者としては、皆さんがこの日を心待ちにしておられたのだなと思いい、参加者の方に感謝申し上げます。

来年度こそは、地区の皆さんに小山田地区大運動会が開催され、楽しんで

頂ける様に、部員一同願っています。

### 生活福祉部会活動報告

中条 實昭

今年度はコロナの4波前に、第一回(4月27日)の部会を計画しましたが、感染が拡大して部会の中止や、小山田社協の総会も中止に追い込まれ、総会も書面決済となりました。

7月に入り改めて第1回の部会を案内、7月29日に部会を新メンバーで開催し、役員選出・今年度の年間計画を作りました。

コロナ感染拡大でふれあいフェスティバルが開催できない場合に、変わる事業は何か?と論議。結論が出ず、次回(9月9日)に持ち越しとなったが、デルタ株が猛威を振るい8月27日〜9月12日緊急事態宣言でまたもや部会が中止となり、ふれあいフェスティバルの代わりに、新しい生活様式三密を避けるため、大勢が集まることのできないならば、こちらから戸別訪問してどうかという事で、アンケートを実施(11月23日〜月末)することを企画・実施しました。

アンケートはほぼ全員の方に回答して頂きました。一部を紹介します。

半分以上の方が、自分で食事を作り、睡眠・散歩など規則正しい生活で健康維持を。高齢なこともあり、月1回ぐらい通院している。マイカーを多くの

方が利用している。

コロナの第5波後でしたが、感染しないか不安で外出できない、などの声が多く寄せられました。ご協力ありがとうございました。

配食サービス・あったか弁当は2月19日に行いました。

### 青少年育成部の活動報告

古市 晴久

日頃は、青少年育成部の活動に対して、ご協力いただきありがとうございます。

本年度も祭礼パトロール、親子社会見学、文化祭協賛、YPO、視察研修、出前講座等の行事を実施する予定で進めて来ましたが、コロナ感染拡大防止の為、すべての行事を中止しました。社会福祉協議会主催の行事に協賛として、フランクフルトの販売とタコ作りをしました。

小学校から依頼された、通学路のゴミ拾いに参加協力をさせていただきました。

来年度は、全ての行事が実施出来ることを望んでいます。



### 文化広報部の活動報告

山家 多喜男

文化広報部の主な活動は、秋の地区文化祭と、年度末の広報誌の発行である。

今年も昨年に続き、コロナ感染が広まったので、文化祭は中止となった。年度末の広報発行も、各部の行事が中止となって、記事内容が不足しましたが、社協各部協賛の「ふれあい青空市場」の開催で、多くの写真等が、紙面を盛り上げてくれました。

広報の特集は、昨年に準じ「コロナ禍の小山田・2」とし、日本の感染状況や、感染者と死者の月別数も、対数グラフで作成しました。

コロナ関連の随想には、老人会より投稿があり、また「まちづくり委員会」からの要望のあった、ホームページの改新版の仕様も、簡単に説明しました。





# 小山田広場



## おめでとうございます

◆スポーツ推進委員会 (3/15)  
十年勤続感謝状  
矢田 純一

◆四日市市民生委員大会 (7/20)  
協議会会長表彰  
岸本 久義

◆四日市市社会福祉大会 (10/6)  
協議会会長表彰  
田中 夏奈子  
矢田 純一  
協議会会長感謝状  
矢田 宏子

◆四日市市自治会長大会 (10/28)  
永年勤続表彰十五年  
里中 俊雄

◆四日市市消防出初式 (1月9日)  
四日市市長表彰  
勤続二十年表彰  
倉田 貴生

### 子育てひろば活動報告

矢田 榮子

今年度の子育てひろばは、コロナの影響もあり、8月の人形劇、11月の親子ふれあい体操、12月のクリスマス会、1月の新年会、数回のフリールーム等、年間予定の半分程の開催になってしまいました。

このような状況でしたが、会員の皆さんは、毎回集まって来てくれました。子ども達のはしゃぐ声や、お母さん達の間がある事に安心感を共有できる場所が必要な事に改めて気づかされます。

今年度は会員さんとの交流ツールとして、LINEの公式アカウントを作りました。今後活用していければ良いと考えます。

子育てひろばの活動は、できる事を模索しながら続ける予定です。

小山田地区の民生児童委員、ボランティア、協力していただく方々には、今後ともよろしくお願ひします。



### 小山田学童保育所の活動報告

小山田学童保育所運営委員会

小山田学童保育所は、保護者による有志が平成二十七年に立ち上げ、保護者と指導員が協力して運営している民設民営の施設です。

今年度は、一年生から六年生までの二十六人が在籍し、平日は放課後、土曜日及び長期休暇中は、朝から夕方までを保育所で過ごしています。

新型コロナウイルスの感染拡大により、いろいろな活動が制限されましたが、感染拡大防止に取り組みながら、夏休みには工作、人形劇、交通安全講習、お金教室やマジックショーなどのアクティビティを、冬休みには、防災訓練やクリスマス会など楽しみました。

今後、年間を通じて子どもたちが安全で安心して過ごすことができるよう、取組みを行っていきます。

地域の皆様、これからもどうぞよろしく、お願ひいたします。



### 女性部の活動報告

大川 陽子

本年度もコロナ禍で各行事が中止されて、仕方がないとは言え寂しいです。

八月二十日に、敬老祝いの個人シーンを地区分けして、九月二十日の敬老祝いまでに、各地で瓢箪堂さんの甘味を、配布していただきました。

コロナ感染が減少した十二月六日に、若狭湾へ箸作り研修をして、カニ会席の昼食を、二十九人で美味しくいただきました。

正月用の寄せ植え教室を、十二月二十三日に花里さん指導で実施し、各自宅の玄関を華やかに飾る事ができました。

一月二十三日ふれあい青空市に、味ご飯を販売しました。

当日は雨が心配で早く売り出し、グランドゴルフ参加の人達に買ってもらうたら、完売してしまい、美味しいからと好評で、十パックもまとめ買いしている人も居て、すぐに売れ切れたと聞いて、作る女性部はうれしかったです。

二月十九日には一人暮らしの方に、味ご飯を作り民生委員さんに配布してもらいます。





## ホームページの実施要領について

添付のホームページ更新版は、今までの「おやまだ7」を、新しい方式に更新して、記事の作成や更新を、各団体・サークル等の担当者が、パソコンやスマホで、投稿可能なように、修正したものです。

従ってこれからは、各団体の活動の案内や記録などの記事は、写真等も含めて自主的に作成し、積極的に投稿して頂くよう、お願いいたします。

実施に当たっては、各団体の広報担当者を対象に、システム制作関係者による、「記事投稿講習会」を開催します。

各団体は、広報担当者の氏名・連絡先等を、団体事務所まで連絡して下さい。

講習会の日程等は、団体事務所を通じて、後日連絡致します。

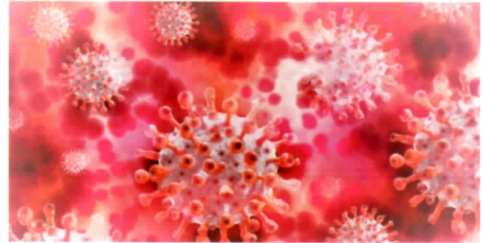


担当 文化広報部 山家

## 表紙のことば

昨年度は、コロナ菌の発生から、WHOの認定・パンデミック宣言、世界的な感染拡大などがあり、日本でも緊急事態宣言が何度も発令されました。

正に恐怖の時代であり、赤いコロナ菌で小山田を囲むデザインにしました。



今年度も、昨年に続きデルタ株の感染拡大等で、重症者や死亡者が増加した。11月頃からオミクロン株が世界的に急拡大したが症状が軽い（WHO）等の可能性も示された。

ワクチン接種も、各世代に3回接種が進むことも含め、コロナ菌感染症のランクダウンが認められて、緑で囲まれたデザインの小山田が実現することを期待します。

## 小山田地区の人口 (令和4年1月)

町別人口					年齢別人口			
町名	世帯	男	女	計	年齢	男	女	計
内山町	58	72	67	139	0~9歳	113	116	229
小山町	172	215	213	428	10~19歳	164	186	350
鹿間町	319	332	364	696	20~29歳	141	196	337
堂ヶ山町	148	183	208	391	30~39歳	202	191	393
西山町	244	277	308	585	40~49歳	285	235	520
美里町	65	79	82	161	50~59歳	286	290	576
山田町	727	675	796	1471	60~69歳	297	327	624
六名町	65	72	66	138	70~79歳	352	365	717
和無田町	130	155	162	317	80~89歳	176	249	425
計	1928	2060	2266	4326	90歳以上	44	111	155
					計	2060	2266	4326

## あとがき

この数年のコロナ禍の中で、各団体の皆さんが、日常活動にご苦労された様子が、活動報告でよく伝わりました。

ご投稿ありがとうございました。

**昨年は**

…一難去ってまた一難

**今年は**

…七転び八起き、七転八倒にならないように、気を付けましょう。

広報・編集部